

とこなめ市議会だより

NO.
153

令和2年8月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地

TEL : 0569-47-6128 (直通)

E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



新型コロナウイルス感染症の影響下、飲食イベントや学校再開に向けての講習などが行われました。

5月17日・24日・31日 とこととCarマルシェ in 常滑



5月27日 常滑市小中学校新型コロナウイルス対応消毒研修会

〈目次〉

市政を問う（一般質問）	P2～P6
学校給食共同調理場候補地視察	
あの質問どうなった？	P7
定例会、協議会報告	P8



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記QRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。



一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

一般質問

問 熱中症対策で登下校時のマスクの着用は

答 状況に応じ、距離を取りマスクを外してもよい



加藤代史子
議員

避難所における新型コロナウイルス感染症対策について

問 避難所における感染症対策は。

答 避難所12か所で体温計、マスク、手指消毒液、施設用消毒液、簡易テント、ベッド、間仕切り用段ボール等を配備する。避難所運営マニュアルを見直し、受付時健康チェック、手指消毒を実施し、換気に努める。

問 避難者を分散させるため、公共施設のほか、県が協力依頼をしているホテルや旅館の活用を含め、開設できる避難所を増やす考えはどうか。

答 県が協力依頼している受入れ先のホテル等は当市になく、検討が難しい。補完施設が15か所あり、避難スペースの確保に努める。分散避難で車中避難する場合、届出を避難所にするよう周知する。

問 障害者や高齢者で福祉避難所が必要な人が直接、福祉避難所に避難できる体制を整備できないか。

答 高齢者施設24か所や障害者施設2か所と協定を締結している。災害時における福祉避難所の建物の安全性、

スタッフの人員確保の点からも直接避難は課題があり難しい。

学校における新型コロナウイルス感染症の対応について

問 新型コロナウイルス感染症の影響で学校を休校したことによる学習の遅れについての対応は。

答 主要行事の見直しや夏季休業を8月8日から20日までの13日間に短縮する。体育や音楽の一部を主要教科に変更等、工夫することで遅れは取り戻せる。

問 今後、熱中症対策は重要。どのような対応を考えているか。

答 熱中症対策として登下校時や体育等ではマスクを外すのを可能とし、水分補給するよう指導していきたい。

問 「緊急事態宣言」の発令に備え、オンライン学習の環境整備を急ぐべきだと考えるがどうか。

答 令和4年度末までに、一人一台の端末の整備を完了することで対応する。

問 「ステイホーム」や「新しい生活様式」による子どもたちのストレスへの対応が必要だと思つがどうか。

答 精神面への配慮は重要である。アンケートや聞き取り調査などを行い、スクールカウンセラーによる支援を行う。

問 安心できる市民病院について

答 色々と対応の不備、要望は聞いている



盛田 克己
議員

安心できる市民病院について

問 コミュニケーション日本一とは。

答 患者、地域、スタッフが連携し一体となった病院機能であるべきだが、実態は日本一ではないと認める。患者の気持ちに寄り添う病院となるよう研修等で見直していきたい。

問 深夜の救急外来を休止した後の救急搬送先の状況は。また、深夜の救急の受入要望はどうか。

答 3月23日から5月末までに計59件。内訳は、救急輪番当番日に常滑市民病院4件、半田市立半田病院47件、公立西知多総合病院5件、他3件である。また、深夜の救急受入の要望はある。

問 救急患者の搬送先病院の判断は。また、患者が病院指定できるか。

答 救急隊員が症状の判断をして近い病院に搬送、症状により医師の判断を仰ぐ。病院指定はできる。

問 救急隊員は命を守る的確な判断が要求され、厳しい勤めである。そこでICT化された装備を導入して、患者データを病院等に伝送して指示を仰

ぐシステムの導入はできないか。

答 効率よくスピーディな救急業務が可能となり、効果は大きいと考える。救急の指示は、知多5市5町で運営している知多広域消防指令センターで取り組んでいるため、機会を見て検討してもらいたい。

路線バス運賃助成事業について

問 4月から始まった高齢者等が対象の路線バス運賃助成制度について、いままでの利用者数は。

答 障がい者31名で264回、高齢者66名で464回、運転免許返納者6名で70回の利用であった。

問 ありがたい制度であるが、「行きは良いが帰りは辛い」と指摘がある。自宅からバス停まで距離があり、重い買い物の荷物を持つての歩行は高齢者には大変である。タクシートの補助や路地にまで入れる小型バスの導入など何か施策を考えてほしいなどの要望が強いがどうか。

答 制度運用の期間が短く、実態は詳しく把握できていない。市民アンケートでも公共交通の整備要求が一番多い。市内大型店舗で買い物客の搬送をしているので、さらに市民へPRするようお願いしていく。喫緊の課題であり補助制度の終了を待たずに施策の検討をしたい。

令和2年第2回市議会定例会の一般質問は、6月10、11日に13人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 防災資機材の使い方を動画にしてはどうか

答 有用性は認識。今後、活用を検討



大川 秀徳 議員

本市における防災時の
新型コロナウイルス感染症の対応について

問 国から都道府県宛に「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」の通達が4月1日と7日にあったが、本市の考えは。

答 避難所運営マニュアルの新型コロナウイルス感染症対応版を作成した。具体的な対応方法は、①通常より早い段階で多くの避難所を開設し、職員を1班2名から2班4名増員配置する。②広報やホームページ等で、親戚や友人の家等への避難も検討するように周知した。③各避難所に、非接触型体温計を発注し、マスク着用と消毒の徹底をお願いする。④避難所の衛生環境確保のため、定期的な換気・物品や避難所内等の消毒や、スペースを区切る等の対策を講じる。⑤発熱、咳等の症状のある避難者は、個室等隔離できる避難所に移動。移動できない場合、各避難所に配備済みの簡易テントで隔離する。⑥避難者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県保健所等と連携し、避難所ではなく適切な場所に移動できるよう検討する。

問 避難所開設訓練を行い、避難所運営マニュアルをさらにブラッシュアップすべきでは。

答 避難所開設訓練は昨年も実施。今後、新型コロナウイルス感染症対策の内容の追加を検討し、常に考え、良い方法を探っていきたい。

問 期間限定で出産祝い金の支給を

答 ぜひやりましょう



伊藤 史郎 議員

新型コロナウイルス感染症支援策について

問 国の特別定額給付金制度は令和2年4月27日までに生まれた人に10万円を支給する制度であり、基準日以降に生まれた新生児は対象外である。新型コロナウイルス感染症が終息しない中で出産を迎えた母親は不安の中で出産を迎えており、母親の気持ちに寄り添うことも本市として真剣に考えるべきではないか。ぜひ、4月28日以降に生まれた子供たちを対象に、期間を定め新生児支援策として、出産祝い金を支給したらどうか。

答 財政的なこともあり、特別給付金と同額とはいかないが、本年度限定で3万円の出産祝い金を支給したい。

問 市民を対象とした市内ホテル宿泊応援券やフライト・オブ・ドリームズの入場料補助、イオンシネマ割引券なども検討し、経済対策の第2弾を考えたらどうか。



答 国の施策も進行しているが、ぜひ本市としても独自で考えていきたい。中部国際空港株やイオンモール常滑、そして本市で構成する「CHITACATプロジェクト」の皆さんや常滑市観光協会と協議を進めたい。

問 マイナンバーカードの普及率は

答 全国平均16.4%、常滑市14.6%



伊藤 直 議員

マイナンバーカードについて

問 今回の特別定額給付金の申請では、マイナンバーカードに関する混乱がニュースなどでも報道されたが、本市でもそのような混乱はあったのか。

答 オンラインでの申請方法の問合せ、世帯情報の入力誤り、パスワード入力の際によるロック解除のための窓口対応などがあった。

問 本市ではマイナンバーカードによるオンライン申請はどれくらいあったのか。

答 6月1日現在、申請数2万589件中731件で比率は3.3%である。

問 国はいろいろなサービスを付与するなど、マイナンバーカードの普及に本腰を入れ始めたが、本市の取組はどうか。

答 他市町などでは図書館利用カードの代わりや健康情報提供などのサービスを付与しているところもあるが、本市では高額な導入費用が課題で今のところ予定はない。マイナポイントの説明などの支援はする予定。

問 今回取得した個人の金融口座などの個人情報の取扱いは。

答 給付金事務として収集した個人情報のため、他の事務には使用せず、いずれ適切に処分する。

一 般 質 問

問 第6次総合計画策定は予定どおりか

答 延期も含め総合的に判断する



中村 崇春 議員

新型コロナウイルス感染症の影響による第6次常滑市総合計画策定の見通しと各種計画の評価と今後の計画及び進行管理について

問 第6次総合計画は予定どおりの策定か。

答 税収見込みを立てることや市民会議等の開催調整が難しいことなどの懸念材料を踏まえ、延期を含め策定期間は総合的に判断する。

問 デジタル社会を見据えた計画を基本計画に織り込んでどうか。

答 若手職員によるプロジェクトチームを立ち上げ検討を始めたところである。アイデアは重点目標として総合計画に反映させる考えである。

問 シティプロモーションには新規取組が必要と考えるがどうか。

答 職員採用PR動画や市独自の婚姻届の作成など、意欲的な若手職員とともに楽しみながらプロモーションを実施している。

問 総合計画策定を延期した場合や財源確保が不透明なまま策定した場合に各種施策が受ける影響はどうか。

答 いずれの場合でも、個別計画に位置付けた施策は必要に応じて見直しをする。

問 水道基本料金の減免を

答 2か月分の水道基本料を減免する



西本 直樹 議員

新型コロナウイルス感染症に対する今後の対策について

問 市民病院で、新型コロナウイルス感染症患者用の病床を確保することは可能か。

答 県の要請があれば、必要な検討を行い特定感染症病床（2床）の稼働を決定する。

問 市民病院の面会について、インターネットを介した面会を検討すべきでは。

答 面会希望日や付き添いなど、多くの業務が生じるため実現は困難だが、高齢者の患者については、別の形でできるよつ配慮したい。

問 児童生徒の学習支援のために、教員の増員をすべきでは。

答 教員の増員は県が主体なので難しいが、国の2次補正予算を活用し、補助的な人材の確保で教員の負担軽減をはかりたい。

問 愛知県内の他市町村で予定されている、水道基本料金の減免を本市でも求めるがどうか。

答 市民生活や経済活動への支援、市議会からも要望が出されたため、2か月分の減免を行う。

問 救急車利用時に感染者を搬送する可能性があるが、感染症対策は万全か。

答 つなぎ式の防護服、N95マスク、ゴーグル、手袋など高度な感染防止策を講じて搬送する。

問 緊急事態宣言解除後の感染防止策は

答 感染防止のため定めた基本対策を実施



相羽 助宣 議員

本市における新型コロナウイルス感染拡大防止対策の検証と解除後の感染拡大防止対策について

問 本庁・公共施設における感染防止対策で、効果があった点、改善すべき点はどうか。また、備品等は十分であったか。

答 手洗い、消毒の徹底、マスク着用、土日の分散勤務、昼休憩の分散等は効果があった。感染者が発生した場合の対応マニュアル整備が不十分であり、改善している。予防のためのアルコール消毒液等は、備蓄と密着対応した。

問 本庁の入口にサーモグラフィを設置することは、感染防止に有効ではないか。

答 費用面や運用面での課題があり、今後調査・研究を行うこととする。

問 職員の体温チェックのために、各課に非接触型体温計の常備、また一般の人を含む各会議の始めに、非接触型体温計にてチェックすることは必要ではないか。

答 職員は出勤前に体温チェックを行っているの、各課の常備は考えていない。一般出席者には今後、必要に応じてチェックできるように購入する方向である。

問 避難所に指定されている公共施設、幼稚園・保育園・こども園等に、非接触型体温計を常備すべきと考えるがどうか。

答 公共施設では常備し、各園では配備できないところがある。



ポर्टレウスとこなめサーモグラフィ

令和2年第2回市議会定例会の一般質問は、6月10、11日に13人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 夏休み短縮決定の経過は

答 5市5町の教育長で協議



坂本 直幸 議員

問 新型コロナウイルス感染症の影響について

問 授業について、保護者の一部から土曜日を活用した時間確保の声があるが検討したのか。

答 土曜日を活用しないのは、一週間のサイクルの中で、児童生徒、教職員ともに休養しリフレッシュすることが必要であり、負担軽減を図るため。また教員にとって休日であるので、勤務体制への影響があり、土曜日の授業は実施しない方針である。

問 夏休みの短縮決定について、現場の教諭や保護者等からの意見を取り入れたのか。

答 知多管内各市町の校長会で、学習のことや子供たちのことを踏まえた学校現場の意見を吸い上げ、各市町の教育委員会決定している。

問 学校行事で生徒が楽しみにしていた、心に残るキャンプが中止と聞いているが、生徒のために校外ではなく校内キャンプを実施すべきだと思うがどのように考えているか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちにとって、非常に楽しみにしていた行事が中止となり残念である。今後の感染症の拡大状況にもよるが、子供たちにとって記憶に残るような代替の行事が実施できるかどうかを検討していきたい。

問 「避難行動判定フロー」の活用を

答 現在、全戸配布に向け準備している



渡邊 十三香 議員

問 新型コロナウイルス感染症まん延時の避難のあり方及び避難所対策について

問 災害時、避難所内での活躍が期待できる高校生及び小中学生の「支援する側」に立った避難訓練、避難所体験を実施してほしいがどうか。

答 教育委員会等と連携し、防災学習の一環として「支援する側」に立った避難訓練、避難所体験等を検討していく。

問 ハザードマップを活用しながら、自宅の災害リスクと取るべき行動が確認できる「避難行動判定フロー」をホームページにアクセスできるようにしてはどうか。

答 現在、広報とこなめへの掲載やチラシの全戸配布に向けて、準備を進めている。また、ホームページ内でも紹介するページを作成した。

問 クオリティの高さを評価されている「とこなめ防災ガイド」に、感染症対策を盛り込んだ改訂版の作成を検討してはどうか。

答 防災ガイドは、昨年の11月に小学校区ごとの地区別ハザードマップも併せた冊子として全戸配布した。次回、更新の際には、具体的な感染症対策に関する情報の記載について、検討する。



問 遊具等の安全性を確保した管理の徹底を

答 安心して使用できるように安全点検を強化する



伊奈 利信 議員

問 遊具等の安全点検、管理について

問 遊具等の点検状況はどうか。また、点検結果に基づき修繕や整備の対応はどうか。

答 ①幼・保・こども園は、保育士が登園日に毎日目視、市の基準に基づく点検を月2回実施。専門業者へ年2回委託、昨年度は4か所撤去、1か所修繕した。②児童館・児童遊園は、平成30年度に専門業者へ委託。昨年度は担当職員が安全確認。今年度は専門業者へ委託の予定。③小中学校は、教職員による日常点検。委託による点検を年3回実施。昨年度は4基撤去、24基修繕した。④都市公園は、日常業務の中で目視による点検。専門業者へ年1回点検を委託、予算の範囲内で危険度の高いものから修繕。⑤農村公園は、担当職員が年1回点検。小脇公園は、指定管理者が年1回専門業者へ委託。

問 目に見える危険は、しっかりと予算を付けて対応されたい。

答 利用者、特に子どもたちが安心して使用できるよう、点検を強化し安全性の確保に努めていく。



一 般 質 問

問 「子どもの貧困」問題の今後の取組は

答 第6次総合計画での取組を検討



山田 豪 議員

子どもを取り巻く環境の問題について

問 「子どもの貧困」問題について、今後の取組を問う。

答 本市では、「常滑市子ども・子育て支援事業計画」の中で、国や県と連携しながら、自立に向けた制度の充実を図ることとしている。また、第6次総合計画での取り組みを検討していく。教育委員会では、学習支援として「地域未来塾事業」、学費支援として、「育成奨学金制度」、「就学援助制度」を行い、在学中の経済支援を行っている。貧困で悩み苦しむ子供たちを支援する新たな方策はないか研究している。

問 「8050」問題について、問題の解決には、国、県、市町村と地域における支援団体とがしっかり連携を取ることが大切と考えるが、今後の取組を問う。

答 本市では、常滑市社会福祉協議会に委託し相談窓口を設置して、ひきこもりの相談を受け付けている。今年3月に名称を「ひきこもり・ひきこもり相談支援センター」と改め、ひきこもりの相談を確実に受け止めることにも関係機関や地域における支援団体との一層の連携を図っていく。

問 持続可能な社会を目指して

答 意識を持ちながら取り組んでいく



井上 恭子 議員

新型コロナウイルス感染症の影響について

問 第5次総合計画で当初予定していなかった市庁舎整備、公共施設改修などで市債が増となり、さらに婦人科不妊治療センターを建設する。身を切る行財政改革を。

答 実施困難な事業の停止。不急の事業は見送り・規模縮小する。次年度以降の計画は見直す。

問 市独自の感染症対策事業で夏季登校期間に全児童に麦茶のペットボトルを配布するが、子どもは水筒を持参する習慣がある。そこも考慮できるように決定機関に子育て経験のある女性をもっと入れたらどうか。

答 安全・安心に学校生活を過ごすために行う。女性栄養教諭4名を含めて行ったものである。

問 財政難の市民病院に不妊治療センター建設は可能か。また、半田病院と統合はできるのか。

答 病院経営は、運転資金を一時借入れ、資金計画を見直す。不妊治療センター建設は可能。半田病院との統合には、より一層の経営改善策を行う。

問 児童生徒の学習の遅れや心のケアをするためにはカウンセラーの増員が必要ではないか。また、IT関係の専門職員を置いてはどうか。

答 カウンセラーの需要が多くなるため、県に対し人員の増員について要望していく。民間委託により、ICT関係に精通した人員を配置する。

水道料金減免の要望書を

市長に提出しました

6月5日に、市議会から市長あてに要望書「水道料金の減免に関する要望について」を提出しました。新型コロナウイルス感染症対策として、幅広い市民を対象とした支援措置が必要であるとの観点から2点要望しました。

要望内容

- 1 幅広い市民を対象とした支援措置となるよう、水道料金の基本料金を2か月分免除されたい。
- 2 愛知県企業庁に、県水受水費の減額を要望されたい。

要望の結果

水道料金の基本料金を2か月分免除すること決定しました。

市議会では、引き続き第2波、第3波に備えて、調査・研究・要望活動を行います。



学校給食共同調理場 候補地を視察しました



公共施設調査特別委員会

北・南学校給食共同調理場は、開設から50年以上が経過しており、施設の老朽化や設備の劣化が著しい状況である。

本特別委員会では、国の衛生基準や調理基準に則った安全・安心な給食を安定的に提供できるように学校給食共同調理場の建て替えに向け調査・研究している。

【候補地の条件】

- ① 必要敷地面積は900㎡程度
 - ② 共同調理場は建築基準法上「工場」の位置づけのため、用途地域は「準工業地域」、「工業地域」、または「市街化調整区域」
 - ③ 提供対象施設では「学校給食衛生管理基準」に規定される調理後2時間以内の喫食が可能
 - ④ 地震・津波などの危険性が低いこと
 - ⑤ 財政負担が軽く、市有地であること
- そのほか、インフラ、交通環境、周辺への影響が挙げられた。

このような条件下で絞られた3つの候補地は「青海農村公園」「ポートレーズ南駐車場」「南陵公民館敷地」で、今回視察した。実際に候補地を訪れてみると、どの土地も一長一短があり、一つに絞り込むことの困難さを感じた。今後、建設費などのコスト面や候補地の条件を精査して、特別委員会としての意見をまとめていく。



特集 追跡調査

あの質問どうなった？

過去の質問を掘り起こし、当時の回答を追跡調査しました。



追跡ファイル1

令和元年9月議会で「地域猫問題の現状と今後の対策について」質問がありました。

当時の回答は

原因者宅を訪問し直接指導する。町内会での情報共有とこなめ地域猫の会への情報提供。今後も、広報とこなめや回覧板で啓発を行っていく。

調査の結果 現在は

野良猫のふん尿被害や鳴き声の迷惑行為がある地域で、協議会を設立した時に市から不妊治療手術費等の補助を行いながら、地域猫活動を普及しています。



追跡ファイル2

平成31年3月議会で「公共バス路線について」質問がありました。

当時の回答は

平成29年には知多乗合(株)にバス路線維持対策費を1812万3000円支給している。定期的な協議は開催しているが、要望書を提出している。

調査の結果 現在は

令和2年4月1日から令和4年3月31日まで、知多バスの運賃助成事業の試行を始めました。対象は75歳以上の高齢者、障害者手帳所持者、運転免許返納者等(満65歳以上から74歳で運転経歴証明書取得者)です。



追跡ファイル3

平成28年9月議会で「ふるさと納税について」質問がありました。

当時の回答は

(利活用する内容はどのように決定するのかは)寄付金は4つの基金に積み立てられている。各担当課が予算編成時に基金の条例や用途ごとの趣旨を踏まえ決定している。

調査の結果 現在は

①健康・福祉②教育・文化③産業・観光④環境⑤景観⑥市長おまかせ⑦市民病院整備⑧小中学校エアコン設置⑨アイアンマンレースによるスポーツ振興のいずれかを希望する項目で寄附をすることができます。

令和元年度は、107件、3億4645万5009円の寄附が集められた。小中学校のエアコン設置については、308件、739万5999円の寄附が集まり、他にも保育園のキッズハウスの設置を行いました。



追跡ファイル4

平成30年6月議会で「官(くわ)興(きょう)市(し)(中国)との友好都市提携について」質問がありました。

当時の回答は

焼き物業界同士の交流をさらに発展させるとともに、経済・産業・観光などの分野においても相互の発展に寄与することを目的とした覚書を調印した。宜興市は江蘇省の阜寧市で人口130万人の大きな自治体である。提携内容については宜興市と協議の上、身の丈に合った友好都市提携を締結したい。

調査の結果 現在は

令和元年10月17日、宜興市において友好都市提携を締結しました。焼き物だけでなく、経済・産業・観光など様々な分野で積極的に交流していきます。

令和2年第3回市議会
定例会会期日程(案)

8月31日(月)
開会、議案上程・説明
9月2日(水)・3日(木)
一般質問
9月4日(金)
議案質疑、委員会付託、予算委員会
9月8日(火)
経済建設委員会
9月9日(水)
文教厚生委員会
9月10日(木)
総務委員会
9月14日(月)
委員長報告、質疑、討論、採決(決算議案を除く)
9月16日(水)・24日(木)・29日(火)
決算特別委員会
9月30日(水)
委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

一般質問等の模様は
9月2日(水)・3日(木)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCNC)で放送予定(再放送は9月6日(日)午前9時から)

令和2年 第2回市議会定例会審議結果 (6月9日～23日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決、同意、異議ない旨答申されました。

議案名	議員名	常 翔 会																		
		山田 豪	西本真樹	加藤代史子	成田勝之	渡邊十三香	伊藤 直	坂本直幸	井上恭子	大川秀徳	中村崇春	都築周典	伊奈利信	稲葉民治	相羽助宣	伊藤史郎	盛田克己	川原和敏	加藤久豊	
議案第34号	令和2年度常滑市一般会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	常滑市市長等の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	常滑市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	常滑市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	常滑市陶業陶芸振興事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	常滑市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	常滑市使用料及び手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	常滑市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	常滑市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	鬼崎北小学校大規模改造工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第3号	常滑市農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第4号~19号	常滑市農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の略 維…常滑維新の会 共…日本共産党議員団 公…公明党議員団 あ…新政あいちとこなめ 笑進…笑進会 新風…新風クラブ

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。4月、5月、6月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

第4回協議会(4月27日開催)

○常滑市における新型コロナウイルス感染症への対応について

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた飲食店応援策

○常滑市高齢者安心運転支援装置設置促進事業費補助金の創設について

○地域猫不妊去勢手術費補助制度の創設等について

第5回協議会(5月28日開催)

○第5次常滑市総合計画点検・評価報告書及び市民アンケート調査結果について

○常滑市新庁舎陶壁でつなぐプロジェクト(案)について

○GIGAスクール構想の実現について

第6回協議会(6月23日開催)

○市が保有する農地の売払いについて